

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

研究課題名	内視鏡下副鼻腔手術における Plus moist HS-W による鼻副鼻腔湿潤療法の有効性に対する研究
対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
新潟大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科、立川総合病院耳鼻咽喉科、新潟市民病院耳鼻いんこう科、長岡赤十字病院耳鼻咽喉科において、2021年4月1日から2022年5月31日の間にESSを行った20歳以上の患者を対象とします。	
概要	
慢性副鼻腔炎などに対して行なわれる内視鏡下副鼻腔手術では、手術後の出血を軽減し、傷の治りを早くする目的で、鼻の中に綿状の資材（パッキング資材）を入れています。現在、パッキング資材は種々ありますが、資材によって除去する際の痛みの程度や時間が変わってきます。本研究では新規の資材であるプラスモイスト HS-W の有用性を検証し、今後の内視鏡下副鼻腔手術におけるパッキング資材の選択に役立てることを目的としています。	
申請番号	
研究の目的・意義	内視鏡下副鼻腔手術における新規のパッキング資材であるプラスモイスト HS-W の有用性を検証します。 この研究により、今後同じ手術を施行される患者さんにより良いパッキング資材の選択が可能となることが期待されます。
研究期間	倫理審査委員会承認日から2023年06月30日まで
情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、画像検査、治療成績などのデータを利用していただきます。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
利用または提供する情報の項目	病歴（生年月日、年齢、性別、既往症、治療内容、予後）、内視鏡画像
利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 佐々木崇暢、若杉 亮 新潟市民病院 耳鼻いんこう科 松山 洋 長岡赤十字病院 耳鼻咽喉科 高橋奈央

	立川総合病院 耳鼻咽喉科 新堀香織
¹⁰ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 佐々木崇暢
¹¹ お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 氏名：佐々木崇暢 Tel：025-227-2306 E-mail：taka-ent@med.niigata-u.ac.jp